



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
 OSAKA, JAPAN

August 2002 No.2
 Chartered July 20, 1982

標語 YS SLOGANS (2002~2003)

クラブ会長 : 『心と思いを合わせ、共に生きる』
 国際会長 : " Growth through service " 『奉仕による成長』
 アジア会長 : " Into the bright light of selflessness " 『無私の仕事で輝く未来へ』
 西日本区理事 : 『ベクトルを合わせ、地域と共に活動を』
 中西部長 : 『心(こころ)豊かに! ワイズ・スピリッツを燃やそう!』

クラブ役員 Officers

会長 : 松浦 孝次
 副会長 : 中村 茂高
 " : 谷川 俊一
 書記 : 山田 孝彦
 " : 畠中 彬
 会計 : 三浦 直之
 ネット会長 : 松浦 和子
 Y連絡職員 : 浜野 昌保

月間強調テーマ : 『 Youth Activities 』

◇◇◇ 8月の聖句 ◇◇◇

【 Biblical Message of the Month 】

◇◇◇ 8月の例会 ◇◇◇

【 August Club Meeting 】

あなたがたは地上に富を積んではならない。そこでは、虫が食ったり、さび付いたりするし、また、盗人が忍び込んで盗み出したりする。富は、天に積みなさい。そこでは、虫が食うことも、さび付くこともなく、また、盗人が忍び込むことも盗み出すこともない。あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ。
 (マタイによる福音書 6章19~21節)

○ 8月 第1例会

日時: 2002年8月25日(日) 13:30~14:00
 場所: YMCA六甲研修センター

司会 栗山 佳三君

1. 開会点鐘 松浦 孝次 会長
2. ワイズソング 一 同
3. 聖句朗読 畠中 彬 君
4. ゲスト紹介 松浦 孝次 会長
5. お誕生日祝い 一 同
6. ニコニコ献金 ドライバー
7. その他連絡・報告 各 担当
8. 閉会点鐘 松浦 孝次 会長

○ 8月 第2例会

日時: 2002年8月28日(水) 18:30~20:30
 場所: 大阪YMCA土佐堀館9F

* 8月例会当番 第2班 (栗山、畠中、中村隆、鎌田、浜野)

* 8月お誕生日 Happy Birthday!!

畠中君 1日、田中君 14日、山田君 23日
 谷川寛君 30日

◇◇◇ Attention Please ◇◇◇

◀◀ 8月22~25日の「アメラジアン子どもサミット」 ▶▶
 クラブメンバーの参画は、以下のとおりです。

A. 8月22日(木)「歓迎パーティ」の準備・参加・片付け

大阪府立青少年海洋センター (泉南郡御所町) 15:00 集合
 (一部の人は買出しのため13:00 集合) 21:00 ごろ退出

B. 8月25日(日)「さよならパーティ」の準備・参加・片付け
 YMCA六甲研修センター 9:30 集合

9:30~受付 10:00~13:00 パーティ・記念写真・献送
 第1例会は、そのあと13:30~14:00に開催。右記プログラムのとおり。

【クラブ統計 Statistics】

2002年7月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 25名	メン	18名	8名	7月: 切手 350 gr.	7月: 42,500円
例会出席 19名	メネット	6名	名	現金 3,500円	
内マークアップ 1名	ビジター	20名	名		累計: 245,030円
出席率 75.0%	ゲスト	名	名	累計: 切手 8,537 gr.	(除く、クリスマス献金、オークション、記念献金)
(Attendance Ratio)	合計	44名	8名	現金 46,000円	

今月の聖句は「山上の垂訓」と呼ばれているキリストの宣教開始後まもなくの有名な個所です。

この聖句の「富」という言葉は、前の口語訳聖書では「宝」と訳されています。「宝」と訳す方が広い意味に解釈できます。

それでは一体、私たちの「宝」とは何でしょうか。ある人は「家族」「友人」「知己」でしょうし、ある人にとっては「お金」であったり「土地家屋などの財産」でしょう。あるいは「(神の前に正しくあろうとする)生き方そのもの」であるかも知れません。その人、その人の人生観、価値観によって「宝」の意味も違ってくるでしょう。

しかし、問題は「宝のあるところにあなたの心もあるのだ」というキリストの鋭い指摘です。

その人にとって「宝」は「心」そのものなのです。もう一度お尋ねします。あなたの「宝」は何でしょうか。
(聖句選、コメント：黒田巖之)

◇◇◇ 7月 第1例会 ◇◇◇

【 Report of the July Club Meeting 】

7月17日(水) 18:30-20:40・東洋ホテル2階「寿の間」
ブリテン：松浦 孝次

● 7月例会は、[20周年記念例会]として、メン・メネット24人に加え、ゲストやビジター20人をお迎えし、ささやかながら親愛の情にあふれた集いをもった。

8月に「アメリカン子どもサミット」を主催するので、記念例会は簡素に行うという方針であったが、クラブと縁の深い多彩なゲスト・ビジターに祝福していただいたこと、またチャーターメンバーである鈴木謙介、黒田巖之、田中稔二、山田孝彦メンの健やかな顔に加え、中村隆幸メンが多忙な中 久しぶりの出席もあり、うれしいことであった。

● 山田孝彦メンの司会のもとに開会。黒田巖之メンの選定による「聖句」解説には、「20年と口にいても、人は変わり、社会情勢も変わったが、しかしその間一貫して変わらなかったのはクラブの中にある友愛(フェロウシップ)であった」と。

● まず会長交代式が、中西部長・山本 豊氏の司式に拠って行われ、中村茂高会長から松浦孝次メンに会長バッジが継承された。中村会長、この1年間ほんとうにご苦労さまでした。

山本部長は、中西部長方針として、『心(こころ)豊かに! ワイズ・スピリッツを燃やそう!』を標語にかかげ、「もてなし」「納得」「準備がすべて」が活動のキーワードであると説かれた。

つづいて、新会長松浦は、「ワイズの原点と本領を確認しながら会の運営に当たりたい、YMCA と協働して社会へのお役立ちを進めたい」とスピーチした。

● わがクラブから大阪YMCAへ、「ミャンマーの子どもたちの教育支援プロジェクト」に毎年10万円(当事業がおよそ10年間続くものとして)を贈る式を行った。

♪

On July 17, our club's 20th anniversary ceremony and Kickoff dinner meeting for the year 2002-2003 was held at the Toyo Hotel, with a total 44 Y's men, Y's menettes And guests in attendance.

We were very happy to see six charter members of our club among those present. They were P.I.P. KENSUKE SUZUKI, YOSHIYUKI KURODA, JOJI TANAKA, TAKAHIKO YAMADA, TAKAYUKI NAKAMURA, all of whom are active in our club and HIDEO YAMANAKA who is now a member of the Tokyo Y's men's Club.

YUTAKA YAMAMOTO, new district governor of the mid-west district presided over the installation ceremony of our new president, KOUJI MATSUURA, succeeding past president, SHIGETAKANAKAMURA.

P.P. Nakamura's leadership and great contribution to our club was outstanding and much appreciated.

Newly elected president, KOUJI MATSUURA delivered his installation address, in which he stressed much closer co-operation with the Osaka YMCA, reaffirming the purpose and objectives of the Y'sdom.

Following his address, president KOUJI MATSUURA presented to Mr. ICHIRO NISHIGORI, general secretary of the Osaka YMCA with a letter promising to donate Yen 100,000 annually to the YMCA's Myanmar Child Care Center program for the coming ten consecutive years.

At the commemoration dinner, the persons concerned for the charter of the club spoke about many interesting stories of the past twenty years' history. They were Y's man GIICHI YUKAMI, the then president of the Osaka Y's men's club who sponsored our club's charter, Y's man HIDEO YAMANAKA, the first president of our club, and P.I.P. KENSUKE SUZUKI who served the first secretary of our club.

♪ 大阪YMCA総主事・錦織一郎氏に、会長松浦から目録を贈呈した。これを受けて、錦織総主事から20周年のお祝とお礼のご挨拶があった。

● [記念祝会]に移り、黒田メンによる食前の祈りに続き、鈴木謙介メンは、「英語をクラブ用語とする(結局そうはならなかったが)」「北新地のなかにあるワイズクラブ」といった創設当時のエピソードを交え、「クラブ生活は、一生の得難い友好関係を創ることができる素晴らしいもの」と挨拶。乾杯のあと、なごやかに晩餐に入った。

● ご祝辞を、20年前センチニアルのチャーターを進められた遊上義一氏(大阪クラブ)と、センチニアル初代会長の山中秀男氏(東京クラブ)からいただく。

● 中西部の新主査、水口美里、オードリ・ギルグ、熊倉尚美の三氏から、運営方針の説明を受けた。

● おわりに、中村前会長から「アメリカン子どもサミット」の8月22日歓迎セレモニー、8月25日さよならパーティーへの参加要領について説明があった後、新会長松浦の閉会点鐘をもって、記念例会の幕を閉じた。

◇◇◇ 7月 第2例会 ◇◇◇

【Report of the July Officers' Club Meeting】
7月24日(水) 18:30~21:00 書記：山田 孝彦

- 大阪YMCA「安全の日」キャンペーンに協力
昨年度と同額の2万円を寄付することを決定した。
- 関西のちの電話チャリティコンサートへの協力
当日(8月2日)の入場整理を、藤原・福永・谷川俊・湯浅・石津メン、谷川メネットが奉仕する(入場券の購入はメンバーに依頼済)。
- 「アメリジアン子どもサミット」の準備状況
 - ① 子どもたちの班編成—6班—が決定した。「しおり」も沖縄で作成済み。Tシャツのマーク案ができた、一部修正が必要か。クラブメンバーも着用する。
 - ② 8月22日の当クラブ出席予定者は、現在12名。25日もほぼ同数。なお可能な人は24日夕から六甲に宿泊する。
 - ③ 「第3回リーダー研修」を8月11日に開催する。リーダーの皆さん、お互いになじんできた。
- 年間計画(とくに例会プログラム)
松浦会長から、例会のテーマをできるだけ事前に設定したい、メンバーのスピーチを計画的に行いたいとの提案があり、
 - ① 9月例会は、「アメリジアン子どもサミットの振り返り」をテーマとする。メネット月間なので、メネットが中心になって運営する。10月は「YMCAを理解する」、11月は「自然環境を学ぶ」。
 - ② 03年2月にデファレンスディをもつとして、そのテーマをこれから皆で考えていこう。
 - ③ その他、IBCとの交流や次期役員の選出時期などについて、意見交換した。
- チャリティラン(11月17日)
当クラブからは、3チーム出場を予定し、畠中メンにマネージメントをお願いする。



(中西部長・山本 豊の司式による、中村茂高メンから松浦孝次メンへの会長交代式)

7月 BF ニュース

【Report of the Brotherhood Fund in July】
BF 委員長・栗山佳三

- ◇現金提供者：栗山、黒田、山田、中村隆君
- ◇切手提供者：山田、中村隆、鈴木、黒田、隅田、藤原、福永、三浦君
- ★今月の殊勲賞：山田君(185g)、中村隆君(95g)



(大阪YMCA 総主事・錦織一郎氏から20周年のお祝とミャンマー教育支援へのお礼のご挨拶)

*** 20周年を祝して ***

田中 穰二

大阪YMCAの100周年を記念して、その名前もセンテニアルワイズと称してスタートした私たちのクラブが、今年ではや20周年を迎えたことは、創立の前からチャーターメンバーの一人として、また連絡主事として関わった私にとって感無量です。

先日の記念例会で、鈴木・遊上両先輩による、創立にまつわる背景についてのお話のなかにもありましたが、当時、大阪ワイズ会長であられた遊上先輩が3クラブを創立すると宣言されたので、私は1クラブの設立でもむずかしいのに3クラブなんてとても無理だとひそかに案じていました。が、宣言どおり実現されたこと、当クラブ会員に遊上さんの綱張りともいべき宝塚やひばりが丘周辺から有力者を多く紹介されたことなど、そのお力に感心させられたことも忘れることが出来ません。

また、その頃大阪YMCAは、堂島に新しく国際・社会奉仕センターを設置して、国際社会、地域社会での奉仕活動の強化を進めていましたが、当クラブは例会場をそこに置いて、奉仕センター活動の中核としての働きに努め、それが今日のセンテニアルワイズの基盤ともなっています。

今後の当クラブの新しい歴史が、会員一人一人の貢献によって更に広く更に深くなりますよう願っています。



(初代会長・山中秀男氏から創設時のご苦労話を聴く)

大阪YMCA ニュース

連絡職員・浜野 昌保

大阪YMCAでは「ユースリーダー安全基金」への募金をお願いしております。この基金は、YMCAの青少年プログラムを支え、発展させてゆく担い手であるユースリーダーの安全と研鑽のために使わせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

★大阪YMCA福祉公開講座

日時：8月10日(土) 午後3時～5時

場所：YMCAサンホーム

内容：「食生活と疾病予防～最後まで自分で食べよう！」

申込み：YMCAサンホーム ☎電話06(6787)3733

★鉄わんクラブ

日時：8月18日(日) 午前10時～午後3時

場所：服部緑地ユースホステル

内容：「フレンチ・イタリアンのプロによる料理」

料理を通して多世代間交流を行います。

申込み：大阪北YMCA ☎06(6867)4744

★大阪YMCA早天祈禱会

日時：8月23日(金) 午前7時30分～8時30分

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

証し：桜井和之(大阪YMCAスタッフ)

問合せ：大阪YMCA ☎06(6441)0894

土佐堀YMCA運営委員会からの お知らせ

●第4回環境教育セミナー

「ボランティア考 ～ 私が変わる・社会が変わる」

主催：土佐堀YMCA、同 地域活動委員会

日時：9月20日(金)19:00～20:30

場所：大阪YMCA会館

講師：ボランティアコーディネーター 岩坂 二規氏

参加費：無料

問合せ：土佐堀YMCA ☎06(6441)0895

●第5回環境教育セミナー予告

「ノーマライゼーションの気づき」

主催：土佐堀YMCA、同 地域活動委員会

日時：10月25日(金)19:00～20:30

講師：逸見 祐司氏YMCA

●土佐堀YMCAカーニバル

11月4日(祝月)大阪YMCA会館

わがクラブから鎌田史郎メンが「カーニバル委員」です。

ワイズ関係のお知らせ

★第65回ワイズメンズクラブ国際大会が8月1日～4日まで、シドニーで開催されています。鈴木、山田、栗山、三浦メンが出席予定です。

★中西部会 10月6日(日)大阪YMCA会館で開催。クラブメンバー全員が参加資格あります。

2002/2003年度 中西部役員・クラブ会長

(中西部役員)

部長	山本 豊	大阪西
次期部長	杉浦 眞喜子	大阪なかのしま
直前部長	尾崎 琢磨	大阪セントラル
書記	井上 公男	大阪西
会計	清水 誠治郎	大阪西
監事	森本 榮三	大阪高槻
連絡主事	向谷 章	大阪茨木

(事業主査)

Yサ・ASF	吉田 晴津子	大阪セントラル
地域奉仕	西野 陽一	大阪高槻
EMC	山田 孝彦	大阪センテニアル
ファンド	横井 時久	大阪豊中
交流	水口 美里	大阪土佐堀
広報	オウ 敬	大阪なかのしま
メネット	熊倉 尚美	大阪西

(クラブ会長)

大阪	三井 泰正	大阪西	成瀬 康夫
大阪土佐堀	工藤 義正	大阪茨木	石井 種男
大阪豊中	北村 良蔵	大阪セントラル	林 恵美子
大阪千里	増田 健郎	大阪なかのしま	保田 圭子
大阪高槻	三浦 紀生	大阪ヴェクセル	永井 篤紀
大阪センテニアル	松浦 孝次		

2002/2003年度 西日本区役員

(役員)

理事	臼井 征郎	長 浜
次期理事	大野 嘉宏	京都バレス
直前理事	吉本貞一郎	熊 本
書記	高橋 辰吉	彦 根
会計	本庄 浩二	長 浜
名誉理事	鈴木 謙介	大阪センテニアル

(事業主任)

Yサ・ユース	鈴木 良洋	大阪サウス
地域奉仕	高木 志朗	大阪ヴェクセル
EMC	栗山 佳三	大阪センテニアル
ファンド	大槻 信二	京都センチュリー
交流	植下 五郎	大阪長野
広報	森 紘一	神戸学園都市
メネット	白井 公子	大阪長野

(部長)

中部	山内 三枝子	名古屋ブラザ
びわこ部	奥村 直彦	近江八幡
京都部	戸田 昌伸	京都メイプル
阪和部	神谷 尚孝	和歌山
中西部	山本 豊	大阪西
六甲部	松本 文男	さんだ
瀬戸山陰部	竹居 洋子	姫路グローバル
西中国部	谷本 秀康	東広島
九州部	佐藤 典子	熊本ジェーンズ

・財政監事	灰谷 隅夫	大阪土佐堀
・行政監事	岡本 尚男	京都キャピタル
・理事事務局長	押谷 友之	長 浜



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

ゲストからのメッセージ

- 尊敬とあこがれのセンテニアルクラブ創立 20 周年記念おめでとうございます。部長公式訪問で、はからずも記念例会に出席できましたことは大変うれしいことでした。中西部を代表するクラブとして益々のご発展を祈ります。(中西部書記/大阪西クラブ・井上 公男)
- 創立 20 周年記念例会にお声をかけて頂き有難うございました。本日の祝会を心よりお祝い申し上げます。又松浦会長さんの交代式、そして抱負を聞かせて頂きました。ご苦労さまです。中村さん 1 年間ご苦労様でした。20 周年のお祝いを YMCA を通じミャンマーに又アメリカの子供たちへのお捧げ、さすがセンテニアルと感服です。心からお祝い申し上げます。(大阪長野・今井 利子)



(会場にお見えになるゲストの人たち 左端:遊上義一様)

- 20 周年記念例会、おめでとう御座います。大阪西クラブ 15 周年祝会には多くの御協力を頂き御礼申し上げます。貴クラブの益々のご繁栄を祈念して。(大阪西クラブ・上野 哲男)
- 久方ぶりに、兄クラブの皆様にお目にかかりホットな気分です。新会長松浦氏も、お若い時代を知っている私ですがどうぞ精一杯活躍されますことをお祈り申し上げます。(なかのしまクラブ・大岸 弘子)
- センテニアルクラブ 20 周年おめでとうございます。今日皆さんと一緒に祝いできることはとても嬉しいことです。なかのしまができてからいつも見守ってくださって心から感謝しております。見習わないといけないことはまだまだあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。(中西部広報事業主査/なかのしまクラブ・オードリ・ギルク)
- 親クラブの例会に出席したいと思いながら一度も果たせず、20 周年の祈念例会にやっと出席できてよかったです。(なかのしまクラブ・桑原 頼子)
- 設立 20 周年おめでとうございます。私たち西クラブも 20 年を目指して頑張っていきたいと思ひます。(中西部会計/大阪西クラブ・清水 誠治郎)
- 20 周年おめでとうございます。やはりセンテニアルは、私の古巣です。新しい方もたくさん増えていっしやる

けど、なつかしい雰囲気うんうんこれ!と・・・

「親」というより「兄貴」として、これからもどうぞよろしく導いて下さいね!頼りにしています。

(なかのしまクラブ・杉浦 眞喜子)

- ミャンマーのチャイルドケアプロジェクトへの支援ありがとうございました。YMCA も Ys も Honesty でありたいですね。(大阪 YMCA 総主事・錦織 一郎)
- 20 周年センテニアルクラブおめでとうございます。楽しく参加させていただきました。(なかのしまクラブ・藤井 弥生)
- センテニアルクラブ 20 周年おめでとうございます。松浦さん会長とても嬉しいです。これから歩まれる 1 年神様のお守りと豊かな祝福がありますようにお祈りいたします。(なかのしまクラブ・松下 広子)
- 20 周年おめでとうございます。松浦会長ご就任お祝い申し上げます。昨日土佐堀の例会で会長引継ぎ式をしていただき、肩の荷をおろしてホッとしています。今年は交流事業主査をさせていただきます。よろしく。(中西部交流事業主査/大阪土佐堀・水口 美里)
- 20 周年おめでとうございます。なかのしまは 5 周年、親クラブとはいえ 15 年の差なので、親よりお兄さんクラブですね。これからは 30 周年 50 周年末永くよろしくおねがいいたします。(なかのしまクラブ・保田 圭子)
- 20 周年おめでとうございます。親クラブのセンテニアルさんはいつも、なかのしまの素晴らしい先輩です。今日は、楽しみにしている夏の納涼例会が今年はない様なので、その分楽しみにきました。これからはどうぞよろしくおねがいいたします。(なかのしまクラブ・山辺 聡子)
- You Must Come back Again. センテニアルクラブの 20 周年の節目にメネット共々帰ってきました。20 周年お目出とうございます。(東京クラブ・山中 秀雄)
- 20 周年おめでとうございます。大阪西クラブ例会にも是非お遊びにおこしく下さいませ。(大阪西クラブ・山本 世津子)
- 20 周年おめでとうございます。このクラブが誕生した時を覚えています。中西部の機関車となってもらいたくクラブです。(中西部部長/大阪西クラブ・山本 豊)
- 創設 20 周年おめでとうございます。(大阪クラブ・遊上 義一)



(鈴木 謙介メンの、20 年を振り返っての挨拶)

“ごぶさた”メッセージ

- いつもお世話になります。7月14日～27日は海外出張で例会に出席できません。また8月17日～9月9日も海外出張で、アメリジアンには参加できません。ご容赦下さい。
(貴多野 乃武次)
- 7月12日より22日まで、世界YMCA大会(於、メキシコシティ)にワイズメネットと同伴出席しますので、欠席します。アメリジアンプログラムの件、8月に中国の大学(上海)からの招聘で「日本経済と中国のWTO加盟」に関する集中講義に出かけます。出発予定が目下判明しませんので、メキシコから帰り次第返事します。
(谷川 寛)
- 体調を崩して手術を受けました。現在、アフターケアを受けながら仕事に復帰していますが、しばらく例会は欠席することになると思います。皆様よろしく。
(山村幸明・電話連絡)

会員からのメッセージ

- 20周年おめでとうございます。このクラブの中でこれからも皆様と共に集えることを感謝しています。
(石津 雅人)
- 松浦新会長一年間大変ご苦労様です。よろしくご指導願います。
(川村 一夫)
- 内輪の20周年記念例会とはいいながら20名を越えるゲストをお迎えし、こんなに嬉しいことはありません。鈴木、黒田両大先輩のご指導もさることながら、これらの人々の支援があってセンテニアルの今日があると思います。
(栗山 佳三)
- 20周年を共に祝えることを感謝しております。山中ご夫妻をはじめ懐かしい方々にお目にかかれて嬉しい限りです。
(黒田 厳之)
- 今日は多勢の参加で、しかも久々に中村隆幸先生にお会いできてうれしい会です。
(坂本 千春)
- わがクラブ20周年のために多数の人の参加を頂き貴重な話をして頂いて感激でした。
(鈴木 謙介)
- 20周年のお祝いに出席できました事を感謝申し上げます。
(隅田 恵子)
- 多くのゲストメンバーと共に20周年例会に出席できて喜んでいます。また松浦新会長をはじめ役員の方々ご苦労様ですご活躍を祈ります。
(田中 稔二)
- 中村さん本当にご苦労さま。松浦さんよろしく願います。中村さんには、これからはアメリジアンに大きい力をお願いします。
(谷川 俊一)
- 松浦新会長と交代し、また新しい大阪センテニアルに生まれ変わることを期待します。積み残し至らぬ点、多々多かったですと思いますが、皆様に支えられての有意義な一年でした。
(中村 茂高)
- センテニアル20周年おめでとうございます。小生も丁度28年目のワイズメンズメンバーとなりました。何年ぶりの出席かおぼえていませんが、できるだけ努力して出席できるようにします。
(中村 隆幸)
- 静かな中にも美しい歩みのセンテニアルの20年だったと思います。皆様と共に元気で活動できますように。
(中村 幸枝)
- 20周年おめでとうございます。より一層の活躍されます輪の中に微力ながらお手伝いできますように努力させていただきます。
(島中 ひろみ)

○20周年の記念にミャンマーのチャイルドケアプロジェクトにご支援いただきありがとうございます。今後ともYMCAのご支援をよろしくお願いいたします。

(浜野 昌保)

○20周年記念を慶祝。7月の聖句を肝に命じたいと念願します。松浦新会長の御健闘を祈ります。(福永 嘉彦)

○20周年おめでとうございます。会長交代式おめでとうございます。センテニアルクラブの発展を祈ります。

(福永 滋子)

○盛りだくさんのプログラムでしたが20周年を祝えたことを本当にうれしく思います。これからも初心を大切にセンテニアルが益々発展することを心より祈念しております。
(藤原 正巳)



(華を添えていただいた力強い同志、なかのしまクラブの人たち)

- 21年目に入ったわがクラブの会長を仰せつかり、身の引き締まる思いです。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。中村前会長、本当にご苦労さまでした。引続きアメリジアン支援事業にリーダーシップを発揮していただくことを期待しています。
(松浦 孝次)
- 今日は、創立20周年という事で沢山のゲストを迎えにぎやかな楽しい会でした。
(松浦 和子)
- 古い皮袋に新しい酒を注ぐ様にセンテニアルも私も活性化して行きましょう。
(三浦 直之)
- 新年度のスタートをクラブ20周年記念の時にできると、喜びは最高です。今年度はクラブの全エネルギーをかけてアメリジアンプログラムを成功させることがスタートになります。緊張と喜びをたぎらせて進みましょう。
(山田 孝彦)

《編集後記》

- ブリテンを担当して1年、まだ達成感がありませんので、会長職と兼ねてやらせていただきます。6月号からITの雄石津雅人さんに作成を協力いただいております。また英文ブリテンは、従来どおり当クラブの国際派藤原正巳さんと谷川寛さんに作成をお願いする体制です。
- 7月号の第1面、発行ナンバーは“July 2002 No.1”(No.12を訂正)、また強調テーマは“Kick-off EMC-C”(Kick-offを訂正)でした。失礼しました。(松浦 孝次)